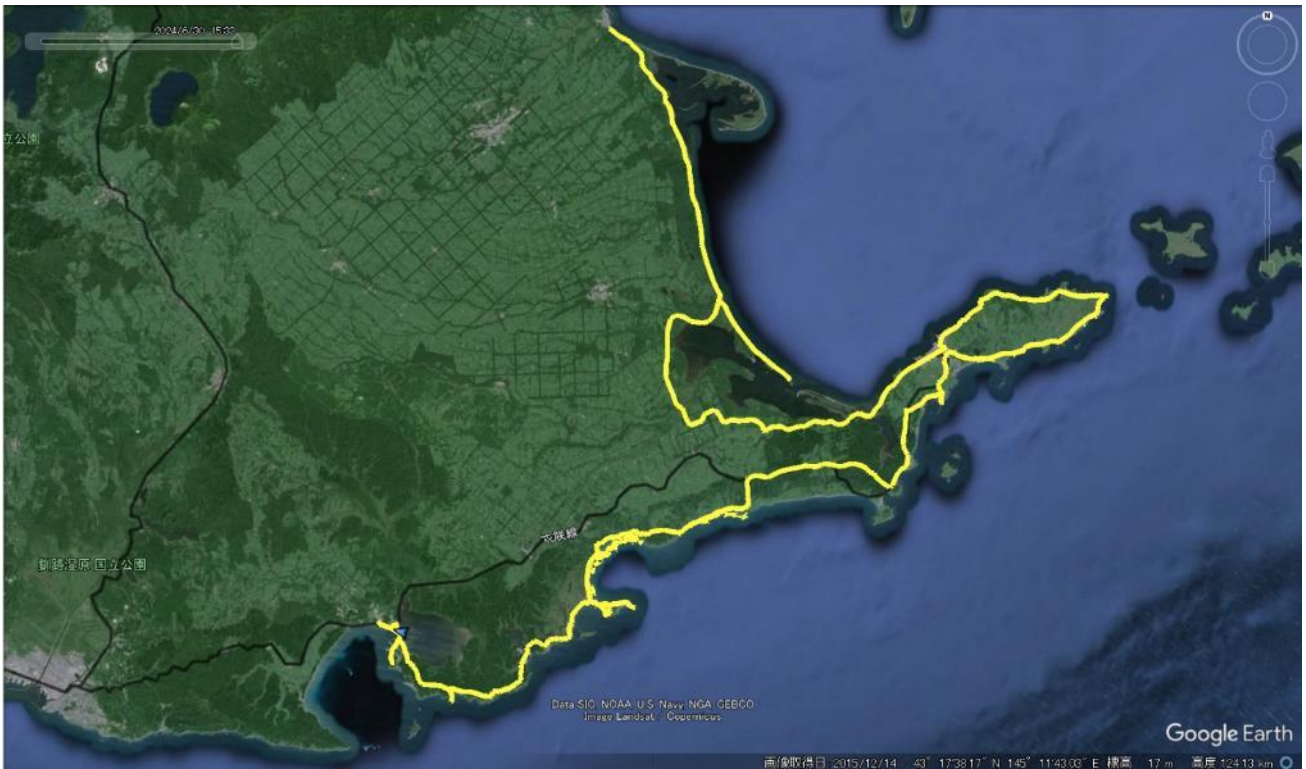


☆5日目(6月30日): 標津から厚岸まで



行程地図(5日目)_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

朝から霧が立ちこめている。「道の駅 おだいとう」の展望台からも展望は望めないので、先に進んだ。



写真 153. 別海町に入る



写真 154. 道の駅 おだいとう

早朝なので、鹿が横切ったり、民家の庭先に群れて居たり、たくさん目撃することができた。風蓮湖の入り口にひよろつと半島のように伸びた走古丹の先端をめざした。



写真 155. 霧の尾岱沼



写真 156. 鹿の群れ

走古丹先端に向けて道道 475 を進み、途中分岐して所々未舗装路進んだが、あと少しで先端と言うところで、道に砂が上がってしまっていて、積み荷の多い状態では危険なので、そこで諦めて引き返した。霧はどんどん深くなり、バイクのシールドにはかなり水滴が付いてきた。



写真 157. 所々ダートになっている



写真 158. フォグランプが活躍



写真 159. 砂が溜まって道を塞ぐ

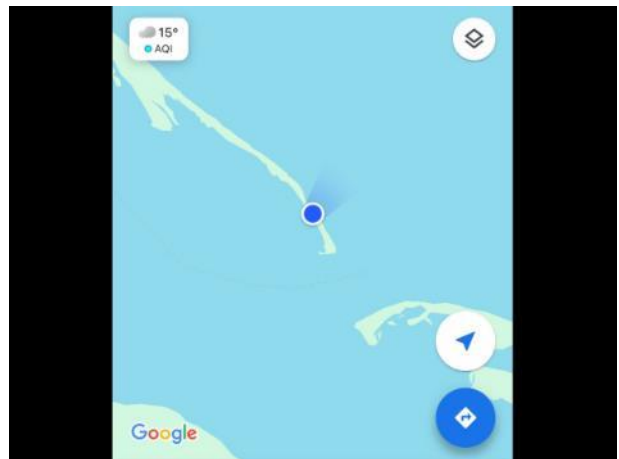


写真 160. ここまで行けました

走古丹から国道 243 に戻り、国道 244 を経て国道 44 に出て霧の牧草地を抜けて「道の駅 スワン 44 ねむろ」に着いた。残念ながら、風蓮湖は霧の中。自販機はまだ HOT 飲料を売っているが、北海道限定商品も多く面白い。



写真 161. 霧の牧草地



写真 162. 道の駅「スワン 44 ねむろ」



写真 163. 風蓮湖見えません



写真 164. 北海道限定製品がある

とにかく何も見えないので、そうそうに引き上げ温根沼大橋を渡り、根室市街地の方に進んだ。市街からは根室半島を 1 周する道道 55 を時計回りに回った。北方原生花園も鳥のさえずりが聞こえるのみ。

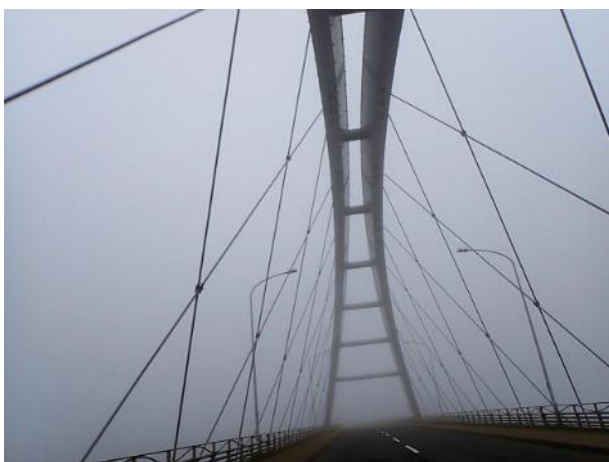


写真 165. 温根沼大橋



写真 166. 北方原生花園

遂に念願の本土最東端納沙布岬に到着。これで本土 4 最端は、長崎の神崎鼻を残すのみとなった。納沙布岬灯台の裏には、野鳥観察舎という小屋があり、中に細長い観察窓があって、野鳥を観察できるようになっている。覗いてみたら、丁度ウミネコが飛んでいった。この後、他の場所でも同じ観察舎があったので、北海道ではトレンドなのかもしれない。

霧の中のお土産屋は、なんか最果て感がでていて良かった。



写真 167. 本土最東端



写真 168. 納沙布岬灯台



写真 169. 野鳥観察舎



写真 170. 観察舎内部



写真 171. 観察窓からウミネコが見えた



写真 172. 納沙布岬お土産店

納沙布岬を後にして、根室市歴史と自然の資料館は、まだ開いていなかったため、通過して花咲灯台のある岬の根室車石を見に行った。まだ、霧が晴れないので、灯台も景色も霞んでいた。車石は、柱状節理が放射線状に伸びているものようだが、遊歩道からはよく分からなかった。いろいろな方向に伸びた柱状節理は見れた。



写真 173. 根室市歴史と自然の資料館



写真 174. 花咲灯台駐車場



写真 175. 花咲灯台は霧の中



写真 176. 根室の柱状節理（車石）

その後は、刈り込んで太巻きになった牧草が転がる酪農地帯が続いた。気まぐれで根室本線（花咲線）の落石駅に立ち寄ったが、何も無い駅だった。ここから国道 142 は、JR 線路と分かれて内陸側を走る。



写真 177. 黒ビニール袋に入った飼葉巻き



写真 178. 根室本線の落石駅

国道 142 は、初田牛でまた海側に曲り、「北太平洋シーサイドライン」というきれいな道に出る。運良く霧も少しずつ晴れてきた。浜中町奔幌戸では、かなり視界が回復していい天気になってきた。



写真 179. 浜中町奔幌戸の展望台 (1)



写真 180. 浜中町奔幌戸の展望台 (2)

霧多布岬が少しずつ見えてきたが、近づくにつれてまた霧が出てきた。



写真 181. 霧多布に向かう



写真 182. 再び霧の中

そして霧多布岬に着いたときは、まだ霧が出ていたが、急速に晴れてきた。湯沸岬灯台の先、岬に続く遊歩道からラッコの親子が泳ぐ姿を観ることが出来た。



写真 183. 霧多布岬

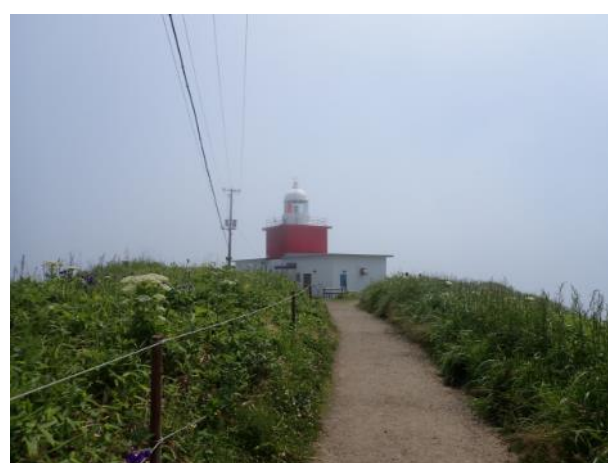


写真 184. 湯沸岬灯台



写真 185. 岬に続く遊歩道



写真 186. 西側の展望



写真 187. ラッコの親子(1)



写真 188. ラッコの親子(2)



写真 189. ラッコの親子(3)



写真 190. ラッコの親子(4)



写真 191. ラッコの親子(5)



写真 192. ラッコの親子(6)

霧多布岬の南の端にあるアゼチ岬にも行ったが、また霧で何も見えなかったので、再び霧多布大橋を渡って先に進んだ。琵琶瀬展望台あたりでは、だいぶ霧も晴れて霧多布湿原も見えた。



写真 193. アゼチ岬



写真 194. 霧多布大橋



写真 195. 琵琶瀬展望台



写真 196. 霧多布湿原

道道 123 は、海岸線をくねくね走る道で、展望台と霧が多い。なかなかいい展望に巡り会えない。



写真 197. 道道 123



写真 198. 厚岸町に入る

涙岬の駐車場にある涙岬と立岩の伝説の看板に漫画の「ルパン三世」が描かれているのは、原作者のモンキー・パンチ氏がこの隣町の浜中町出身だからで、この辺一帯にルパン一家の絵が登場するらしい。



写真 199. 涙岬の駐車場



写真 200. 「ルパン三世」入り看板

道道 123 を進むと「アヤマ祭り開催中」と幟が出ていたので、「あやめヶ原 原生花園」に寄ることにした。ここは、「チンペの鼻展望台」に続く遊歩道脇に天然のアヤマが群生している。



写真 201. あやめヶ原のアヤマ



写真 202. あやめヶ原 原生花園



写真 203. 東側の風景

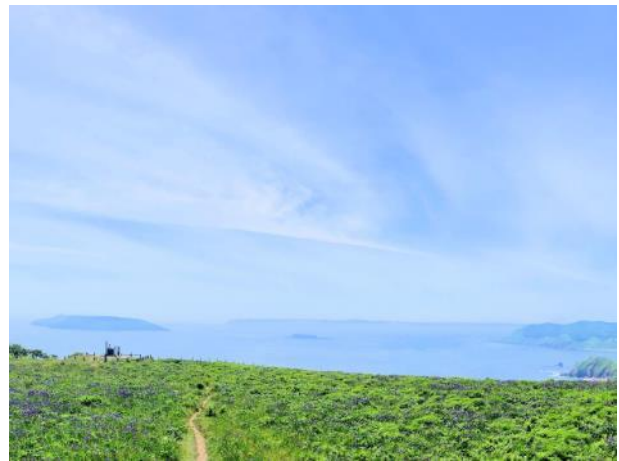


写真 204. 左に見えるのが大黒島

アヤマだけでなく海と草原もとてもきれいだった。大黒島もよく見えた。お祭り期間中は、冷たい牛乳か暖かいコーヒーをサービスしてくれるので、冷たい地元の牛乳を頂いた。暑かったので、とても感謝。



写真 205. チンベの鼻展望台



写真 206. 牛乳のサービス

この後は、厚岸に向かった。「道の駅 厚岸グルメパーク（コンキリエ）」でお昼が食べたかったので、まずはそちらに向かった。昭和の観光記念バジのデザインになっていた厚岸大橋が見たかったので、渡るときちょっと感動した。道の駅の駐輪場に懐かしいトランザルプ 400V が停まっていた。



写真 207. 赤い厚岸大橋



写真 208. 道の駅 厚岸グルメパーク

ここ厚岸は、牡蠣や蟹が美味しいので有名なところ。日曜日という事もあってレストランは混んでいて、整理券をとっての30分待ち。展望のいいベンチでジュースを飲んで時間を潰した。



写真 209. 道の駅から



写真 210. 牡蠣ぶた合戦丼

牡蠣は、夜ホテルでも出るだろうから「牡蠣ぶた合戦丼」1,800 円というのにした。大きな牡蠣フライが 3 個とその下に豚の焼き肉が敷き詰められている。味噌汁も大きなアサリが入っていた。十分に美味しかったが、牡蠣フライの鮮度が凄くいいわけではなかったのが残念。

食後は、まだチェックインには時間があつたので、厚岸大橋を戻り愛冠岬の見学に行った。愛冠岬駐車場まで登ったが、そこから先の岬までは行かなかった。ただ、この岬は来る人が少ないのか、エゾシカ天国のようで、そこら中に鹿がいて、バイクの前も横切っていくので要注意の道だった。



写真 211. 愛冠の鹿達 (1)



写真 212. 鹿横断中



写真 213. 愛冠の鹿達 (2)



写真 214. 左上に鹿発見

愛冠で鹿見学をしたあと、厚岸の町に戻り、先ほど見つけた多くの人が出入りしている市場に行ってみた。「厚岸漁業協同組合直売店 エーウロコ」という売店で、牡蠣、蟹を代表する魚介類を売っていた。ここで、家族に花咲蟹をクール便で送った。今日、花咲を通ってきたときはまだ店が開いてなかったなので、ここで買えて良かった。買い物を終えて、本日の宿「シーサイドインホテルあつけし」に向かった。売店と目と鼻の先だった。

ホテルは、徒歩圏内にコンビニもあり便利だが、散歩するには何もなくてつまらないロケーションだった。ネットの書き込みで、夕飯が美味しいとの評判だったのが、選定の理由。途中知り合ったライダーが、ここを取りたかったけど予約がいっぱいだったそうである。早めに抑えておいて正解。



写真 215. 厚岸漁業協同組合直売店



写真 216. 花咲蟹



写真 217. シーサイドインホテルあけし



写真 218. 夕飯（海鮮）



写真 219. 夕飯（牡蠣）



写真 220. 夕飯（焼き豚）

夕飯は、生牡蠣、焼き牡蠣、酢牡蠣、牡蠣フライ、ホタテなどの刺身、あさり汁、潮汁と最後にダメ押し焼き豚！噂通りで味もボリュームも満点。この宿にして良かった。昼の牡蠣フライと違って新鮮で美味しかった。今まで雨に降られなかったが、今晚雨雲が通過する。翌朝には止んでいることを期待して寝た。